

# 1月8日～9日の積雪後の対応について

平成29年1月10日  
農業技術課

平成29年1月8日から1月9日にかけて県内で降雪があり、甲府では9cm、河口湖では43cmの最大積雪深となりました。

農作物や施設には被害はありませんでしたが、今後に向け次を参考に対応して下さい。

## 1 ハウス・施設栽培

- ・ハウスの内張カーテンを開け、融雪を促進する。加温設備があるハウスでは、暖房機を運転してハウス内の暖気を拡散するなどし、屋根部分の雪を滑り落ちやすくする。
- ・軒下に積もった雪は屋根雪の滑落の妨げになるとともに、ハウス側面を圧迫するため、できるだけ除雪を行うが、積雪が多かった場合、積雪の偏りによりハウスのバランスが崩れ、施設が倒壊する危険性があるので十分に注意する。
- ・今後の降雪も考慮して、日頃より暖房機の燃料を確認（又は補充）しておく。

## 2 露地栽培

- ・ブドウ棚等を点検し、支線の緩み、アンカーの浮き上がり、帆柱の損傷などが見られる場合には、早急に補修・補強を行う。
- ・積雪量が多く、は種・定植の遅延や、凍害が予想される場合は、堆肥や炭等の資材を散布し融雪に努める。
- ・滞水しやすいほ場ではうね立て等により排水路をつくり、排水に努める。